

テーマ「色」

テーマを設定する（5 歳児クラス）

固形絵の具遊びを通して、自分で好きな色を混ぜる楽しさや色の変化、面白さを感じていた。身近にある色について、さらに興味関心を深めるため、テーマを設定した。

活動① 色を混ぜて遊ぶ

「色を混ぜたらどうなる？」という問いをもとに、絵の具遊びを行った。

ねらい：混ぜる色の組み合わせや量により色が変わる面白さを感じる

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
① 色を混ぜて遊ぶ	30 分程度	16 人
② 絵の具で感触遊び	60 分程度	16 人
② 光と色の反射を探究	60 分程度	16 人

環境をデザインする

●準備した物

模造紙、絵の具（赤・青・黄）、筆、パレット、画用紙



探究活動を実践する

●活動内容

赤・青・黄の絵の具を使って模造紙を繋げた大判の紙に自由に描いて表現した。

●子どもたちの様子

- ・ 3 原色の色が変わっていく面白さを感じていた。
- ・ 右手と左手に絵の具をつけて合わせるとどうなるのか、わくわくしながら試す様子が見られた。



振り返りをふまえた気づき

- ・ 5 歳児でも感触遊びを十分に行う必要性を実感した。
- ・ 混ざりあった色を見て「氷の色」「空の色」とイメージを膨らませ、身近にある色への興味が広がっていた。

テーマ「色」

活動② 絵の具で感触遊び

活動①で色を混ぜて遊ぶことを楽しんでいた様子から、感触遊びを十分に味わえるように行った。

ねらい：色の変化や絵の具の感触を十分に味わう

環境をデザインする

●準備した物

クラフト紙・牛乳パック4つをつけたもの・プラコップ・筆・ブルーシート（床）・テープ付き養生シート（壁）・サクラ工作ポスターカラー・ペットボトル・色画用紙



探究活動を実践する

●活動内容

- ・床や壁などシートを敷いて、絵の具の感触を十分に楽しみ、のびのびと表現遊びをした。その後、描いたものを紙に写した。

●子どもたちの様子

- ・「色の研究所にしよう」とクラフト紙全体に絵の具を塗り広げていた。
- ・足や顔などにも塗り、絵の具の気持ちよさを感じていた。
- ・指で描いた痕跡に色画用紙をのせ、絵や形が浮かび上がってくる発見も楽しんでいた。



振り返りをふまえた気づき

○専門家から

- ・のびのびと表現できるよう子どもたちと最低限の約束のみ確認し、感触を十分に楽しむことで遊びが継続する。
- ・紙は破れない素材を準備し、絵の具の色は、混色にしても綺麗になる色を用意するなど素材選びも重要である。

○保育者の振り返り・気づき

- ・普段苦手意識がある子もやってみたいという興味に繋がった。
- ・絵の具の状態を見ながら霧吹きをしたり、絵の具の色を足したりすることで、より遊びが継続できていた。



テーマ「色」

活動③ 光と色の反射を探求

保育室に差し込む光と影に関心を示していたため、光と色を用いた探求活動を行った。

ねらい：光の反射により、影の形や色の変化に気付き、好奇心を深める。

探究活動を実践する

●活動内容

- ・光の向きにより見える形の変化や色が反射する様子を探求した。

●子どもたちの様子

- ・光がピタゴラス玩具に反射して床やテーブルに色が映し出されることに気付き、色の変化を楽しんでいた。
- ・影絵をみた後、手や体を使って自分がイメージした影の形になるように遊んでいた。
- ・カラーセロファンを貼った画用紙が光の反射でテーブルや床に映ることに好奇心を高めていた。

環境をデザインする

●準備したもの

影絵をみる、ピタゴラス、カラーセロファン、画用紙、セロテープ、はさみ、テーブル



振り返りをふまえた気づき

- ・身近な生活の中で見られる光と影に気付いたり、遊びの中に取り入れようとしていたりする姿が見られていた。
- ・体験したことを自ら遊びに取り入れ、再現する様子や探求する姿が見られた。